エンジニア転職を実現する3ステップ

大城ゆう
YU OHSHIRO

未経験から4ヶ月でエンジニア転職する方法

Copyright ©2020 CORECOLORS.inc All Right reserved.

■はじめに

こんにちは、大城ゆうです。
この度は『エンジニア転職を実現する3ステップセミナー　～未経験から4ヶ月でエンジニア転職する方法～』をダウンロードいただき、ありがとうございます。

この無料小冊子は「未経験からエンジニア転職したい！」という方に向けて書きました。

私自身、30代で業界未経験からWeb制作会社に転職しました。
初めは分からないことだらけで（と言うより何が分からないかも分からない状態で）「本当にやっていけるのだろうか」という不安しかありませんでしたが、今では「web業界に来て本当によかった。この業界が自分の肌に合っている」と確信しています。

同じように、これから未経験でWeb業界に入りたいという方は、
きっとこの小冊子がお役に立てることがあると思います。

ぜひ最後まで読み進めてみてください。

■目次

■はじめに **2**

■目次 **2**

■自己紹介 **3**

■エンジニア転職に必要なもの **4**

①スキル 4

エンジニアスキル 4

転職スキル 5

Copyright ©2020 CORECOLORS.inc All Right reserved.

②ポートフォリオ 6
③検索力 6
④探究心 7
■何を学習していくのか 9
【ステップ1】 HTML、CSS、レスポンシブを学習 9
・HTML 9
・CSS 10
・レスポンシブ 12
■制作フローにおけるエンジニアの位置 13
・ディレクター 13
・デザイナー 14
・エンジニア 14
■どのように転職するのか 16
【ステップ2】ポートフォリオを作成する 16
【ステップ3】転職サイトに登録する 18
■エンジニア業界に入ってみた感想 19
・イマイチな点 19
・良い点 20
■今日のまとめ 22
■お知らせ 22

■自己紹介

まず簡単に、私の自己紹介からです。

名前は大城ゆうと言います。

Copyright ©2020 CORECOLORS.inc All Right reserved.

エンジニア歴は4年です。

大学を卒業後、フィールドエンジニアの仕事に就いたのですが、
仕事をして数年経った後に、ふと、「もし会社が倒産してなくなったら、今のスキルは社外でも通用するのか？」という自問自答をしまして、考えた結果「社外では通用しない」という結論に至り、退職をして、その後WEBデザイナーに転身しました。

それから複数社を経まして、現在、自社開発企業の（主にWEB制作の）エンジニアとして仕事をしています。

まずは、半年間、勉強と転職活動をしてまとめた「エンジニア転職に必要なもの」です。

■エンジニア転職に必要なもの

①スキル

- エンジニアスキル

これは当たり前と言えば、当たり前ですが、エンジニアをエンジニア足らしめるものになります。「エンジニアスキル」です。

WEB制作の現場では、HTMLとCSS、レスポンシブスキル、jQuery、JavaScript、WordPressなど、色んな言語やシステムを使用します。
その中でもまず、必須なのはHTMLとCSSです。
これは基本中の基本で、必須言語になります。

Copyright ©2020 CORECOLORS.inc All Right reserved.

WEBサイトを作るのも、LPを作るのも、これを知らなくては制作できません。ページの構成を形作るものになります。

- 転職スキル

続いては、スキルの中でも「転職スキル」です。
「エンジニアスキル」だけではなく、転職スキルも必須になってきます。

具体的に言うと、書類選考に通過する力と、面接でのコミュニケーション能力があります。

就職活動、転職活動をしたことがある方には言うまでもないですが、面接を受けるまでに履歴書や職務経歴書を書く必要があります。
その企業にどんな貢献ができる人かを書類の段階で見分けられるわけですね。

この書類選考もコツが必要で、自分目線ではなく、企業目線で書かなくてはいけません。
こういった書類を書く力も身に着ける必要があります。

また、同じように面接でのコミュニケーション能力も必要です。

面接官が質問してきたことに対しての答えを考える力、答える力。
事前に、ある程度質問内容を想定して、自分なりの答えを用意しておくことで対処することができますが、想定していなかった質問に答える力も必要かと思います。

これらもエンジニアスキルとは別に、身につけておく必要があります。

以上が転職に必要なものの一つ目、「スキル」です。

Copyright ©2020 CORECOLORS.inc All Right reserved.

②ポートフォリオ

続いては2つ目はポートフォリオです。

ポートフォリオって何のことかと言うと、「作品」ですね。
「これまでこういった作品を作りました」という実績のことでもあります。

実績と言っても、業界経験者の方はともかく、未経験の方はエンジニアの仕事をしているわけではないので、残すことができません。

ではどうするのかと言うと、「勉強した結果、こういった作品が作れるようになりました」という実績を作ります。

SNSでよくワードとして出てくる「模写」もポートフォリオの一つですね。

これらをwebサイトに掲載しておくことで、「こう言ったことができます」と見本を見せて、作った時のイメージを持ってもらう。
転職希望の方は面接官の人に、その「会社で働いて、仕上げる制作物をイメージしてもらうこと」が狙いです。

言葉では「できます」と言っても、じゃあどのくらいできるのかは作品を見ないと分からないので、このようなポートフォリオを用意する必要があります。

これが転職に必要なもの2つ目のポートフォリオです。

③検索力

そして3つ目は「検索力」です。

学習を進めていると、途中で必ず、分からないことが出てきます。
「このタグの意味なんだっけな？」「これを実装するにはどうしたらいいんだろう？」という疑問が、100%必ず出てきます。

Copyright ©2020 CORECOLORS.inc All Right reserved.

そこで検索力がなかったら、制作ってそこでストップしてしまうんですね。

なので、「HTML・CSSという言語で、どんなことができるのか」ということを知ると共に、検索していく力が必須です。

「このタグはこういう意味を持つから、こう検索すればいいだろう」という予測を立てて検索する。

例えば、「pタグで、周りに枠線をつけるにはborderプロパティを使えばいいだろう」などですね。

そこからさらに「じゃあ枠線を点線にするにはどうしたらいいだろう」という場合には、「pタグ　border　点線」と検索すると、必要な情報にアクセスすることができます。

そうすると、エンジニアの方が書いている記事にヒットして、HTML・CSSの書き方、これをソースコードと言いますが、ソースコードが書いてある記事を検索して、実装に組み込んで、制作を進めていけるようになります。

これが検索力が必要な理由です。
3つ目は検索力です。

④探究心

次、4つ目は探究心です。

これは3つ目の「検索力」に必要なものとも言えます。

最初は、学習が面白くないものかもしれないです。
「これがどんな実装に使えるのか？」というのが分からなかったりして、ソースコードが、ただの暗号のようにしか見えないかもしれません。

Copyright ©2020 CORECOLORS.inc All Right reserved.

ただ、学習し続ける中で、実装できてくると、「じゃあこの場合どうなんだろ」「あの場合どうなんだろ」と次第に興味が湧いてきます。

すると、この「探究心」が「検索すること」と紐づいて、様々な実装パターンの引き出しが出来てくるようになります。

こうなってくると自走できる状態なので、エンジニアとして力をつけることが、より容易になります。

まず「基礎を身につける」
↓
基礎を身につけるためには「検索する」
↓
検索するためには「探究心」が必要です。

まあ、後付けの意味合いも強いですが、探究心もエンジニア転職に必要なものとなります。

以上4つですね、エンジニア転職に必要なものをお伝えしました。
おさらいすると

①スキル
②ポートフォリオ
③検索力
④探究心
です。

では次のトピックに移りましょう。

Copyright ©2020 CORECOLORS.inc All Right reserved.

■何を学習していくのか

これは先ほどの、転職に必要なものの中の「スキル」にも出てきましたが、HTML・CSS、それから、レスポンシブです。
一つずつ説明させていただきます。

【ステップ1】 HTML、CSS、レスポンシブを学習

これがまず、セミナータイトルの「転職実現のための3ステップの1ステップ目」です。

・HTML

マークアップ言語のことで、webサイトを表示させるためのものになります。

SNSでは「プログラミング」と一括りにされてますが、HTMLは「マークアップ言語」なので、正確には「プログラミング言語」とは異なります。

例えばこういうものです↓

エンジニア転職を実現する3ステップ
転職に必要なものはスキルです。

という文章があります。

Copyright ©2020 CORECOLORS.inc All Right reserved.

これだけだと、単なる文字情報だけなので、これをコンピューターが理解できるようにタグで囲みます。
―――――――――――

<h1>エンジニア転職を実現する3ステップ</h1>
転職に必要なものはスキルです。

↓

h1 = 記事タイトル
p = 文章

その文章が何を意味するのか。

h1タグは「記事のタイトル」、pタグは「文章を表すもの」なのですが、これを人間が意味を付与してタグを当てていくことで、コンピューターに「これはタイトルです。これは「タイトルを補う文章です」と理解させていきます。

タグを付与することで、コンピューターがその文章構造を理解していきます。
これがHTMLの役割です。

続いてCSSの役割について説明します。

・CSS

CSSは、HTMLでできた文字情報を整理するためのものです。

文字の色を変えたり、大きさを変えたり、枠線で囲ったりなど、文字を見やすくするための役割を持ちます。

例えば、こちらの画像の例だと

Copyright ©2020 CORECOLORS.inc All Right reserved.

まずは左側です。

デフォルト、初期状態では文字は左上から表示されていくのですが、画像と文字を横並びにしたり、余白を開けたり、文字色を濃い紫やねずみ色に変えたりして、見る人が見やすいように装飾しています。

一方CSSがないと、右側のような画像になります。

大きさも、並び順も、文字の色もバラバラですよね。
パッと見ても、何について書かれているのか頭の中で整理するのに時間がかかってしまいます。

サイトを訪れたユーザーが、そうならないように見やすく整理する役割をするのが、このCSSです。

ちなみにCSSの書き方はこのようになります。

```
.post {
    width: 460px;
```

Copyright ©2020 CORECOLORS.inc All Right reserved.

```
    float: left;
    margin-right: 30px;
}

セレクター{
        プロパティ: 値;
}
```

今後勉強していくと理解できるようになりますので、今は理解しなくても大丈夫です。

このまま進みましょう。

次です。何を学習するのかの3つ目は「レスポンシブ」です。

・レスポンシブ

レスポンシブって何なのかと言うと、スマホレイアウトに最適化するコーディングのことです。

普段見るようなwebサイトだと、最近はほとんどレスポンシブに対応していないものは見かけなくなりましたが、レスポンシブ化されていないサイトだとピンチイン、ピンチアウトで見ていくので、非常に見づらいです。

小さい画面のスマホだと結構大変です。
ズームして、タップして、元に戻すときはズームアウトしていちいち操作が発生します。

それに対してレスポンシブ対応のサイトだと、レイアウトがスマホに合わせられていてとても見やすくなります。

いちいちズームする必要がないので、楽にwebサイトを見ることができます。

Copyright ©2020 CORECOLORS.inc All Right reserved.

例えばアップルのサイトだったら、パソコンで見たときとスマホで見たときのレイアウトが変わっているのを確認できます。
https://www.apple.com/jp/

このレスポンシブはCSSで記述を書いていきます。

こういう具合に、言語や仕様も技術として学習しないと現場で使用できないので、必須の学習内容になります。

■制作フローにおけるエンジニアの位置

ちょっと話はそれますが、エンジニアが実装するHTML・CSSがweb制作全体の、どの流れに位置するのかということについても一度見ていきましょう。

会社にもよりますが、一般的には次のような流れです。

まず担当として、「ディレクター」「デザイナー」「エンジニア」がいます。

・ディレクター

ディレクターは、社外では依頼者（企業や個人）とのやり取りや、仕様を詰めてお客さんがやりたいことを具体化して「ワイヤーフレーム」と呼ばれる設計書を起こします。

Copyright ©2020 CORECOLORS.inc All Right reserved.

社内では、進捗管理をしてデザイナーやエンジニアの制作の舵取りを行います。

・デザイナー

お客さんからワイヤーフレームの承認が出たら、今度はワイヤーフレームからデザイナーがデザインを起こします。

IllustratorやPhotoshopをなどのツールを使用します。

できたデザインをお客さんが確認し、これも承認が降りたら、次はエンジニアにボールがパスされます。

・エンジニア

デザイナーが起こしたデザインを元に、それをマークアップしていきます。
このマークアップに使うのがHTML・CSS・レスポンシブです。

プラス、動きを付けようと思うとJavaScriptやjQueryの実装も伴います。

まとめると、次のようになります。

Copyright ©2020 CORECOLORS.inc All Right reserved.

この3方がそれぞれの工程で責任を担って業務を行います。
これが制作の流れです。

なので技術はもちろんのこと、ディレクターに実装内容を説明する、論理的な説明力も必要になってきます。

ただ、最初からできる人はいないので会社に入ったら、必要なことを先輩から聞いたりなどして実務をこなしていく中で力がついてくるので、そこはあまり心配しなくてもいいかなと思います。

以上が「何を学習するのか？」の内容になります。
続いて、次のトピックに移ります。

Copyright ©2020 CORECOLORS.inc All Right reserved.

■どのように転職するのか

これがステップ2の内容です。

【ステップ2】ポートフォリオを作成する

ステップ2は「ポートフォリオを作成する」です。
ポートフォリオって何のことかと言うと、既に説明したように、
「自身が作った作品」のことです。

一通り学習しました。じゃあ「企業に面接に行きます」となったときに、「どのようにして自分のスキルをアピールするのか」ということになります。

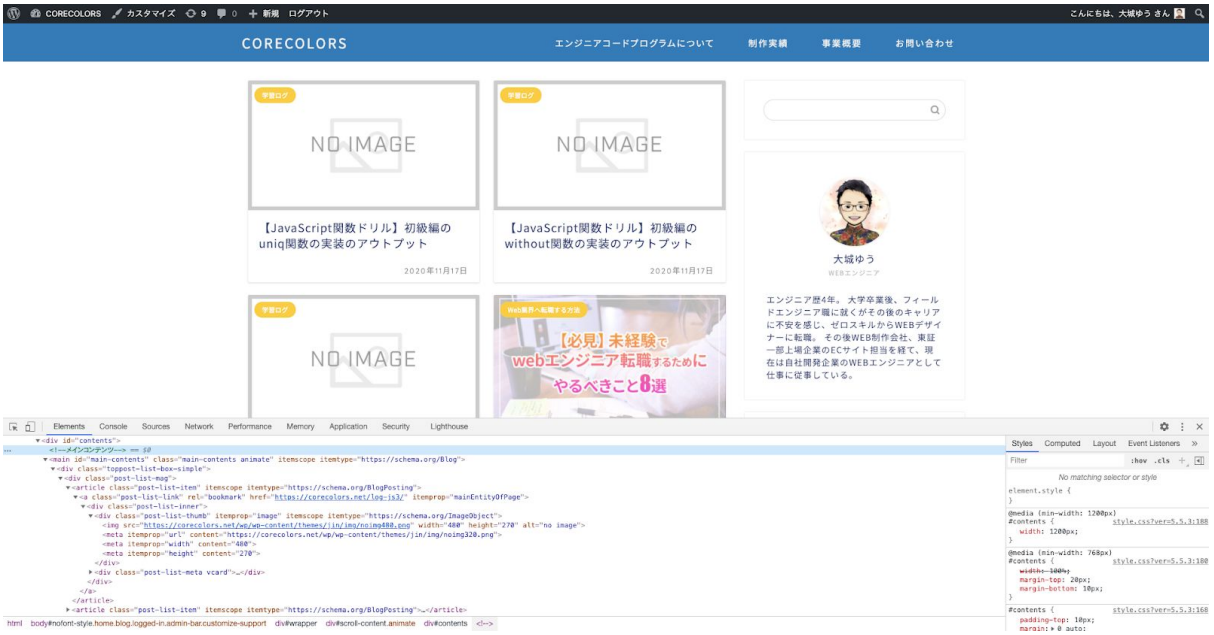
もちろん口頭で「HTML・CSS、レスポンシブコーディングができます」と言うことはできますが、「じゃあどのくらい理解しているの？」と聞かれても「このくらいです」と、伝えられる尺度がないと相手に伝わりません。

形がないと分からないからですね。

webサイトは作ったコードを全て外部の人は見ることができます。
例えば僕のサイト、どのようなソースコードで書かれているのかと言うと

https://corecolors.net/

Copyright ©2020 CORECOLORS.inc All Right reserved.



画像の下半分にあるような感じで、全部外から良くも悪くも見れてしまいます。

ここで「この部分はこういう意図でh2タグを使用しました」とか「こういう意図でnavタグを使用しました」とか構造をタグを見ながら説明すると「こいつは分かってるな」と言うふうになるわけです。

それが作品なく面接に行っても、何も説明するものがないので、門前払いをくらいます。
実際は、書類選考が通過しないはずです。

したがって、学習したらポートフォリオを作らないといけません。
これが学習後にするステップです。

ステップ1でHTML・CSS、レスポンシブコーディングを学習したら作品を作ってください。

模写したり、知り合いのwebサイトを作ったりなんでも良いと思います。
企業の人が成果物として確認できるものを用意しましょう。

Copyright ©2020 CORECOLORS.inc All Right reserved.

これがステップ2「ポートフォリオを作成する」です。

そしてステップ3。

【ステップ3】転職サイトに登録する

ステップ3は「転職サイトに登録する」です。

転職サイトに登録して、企業にコンタクトを取ります。
リクナビNEXT、マイナビ転職、Greenなど転職サイトは様々あります。

まず、アカウントを取得して、履歴書・職務経歴書を登録します。
その後企業を検索します。

少しでも気になる企業には書類を送るようにすると良いです。
その際、ポートフォリオも併せて送るようにしましょう。

大体の企業は1週間ほどで結果が返ってくるので、書類選考が通過したら、面接日程を決めていきます。

面接は2回から3回くらいのところが多いので、どんな質問が来ても返せるようにします。

多いのは、転職者だと退職理由を聞かれたりなどします。
これは事前に答えを用意しておけばOKです。

また、なぜweb業界に入ろうと思ったのか、その理由や
技術に関する質問もしてくる場合があります。
そのときに答えられるよう、準備をしておきましょう。

事前準備をしっかりと行った上で、場数をこなせば、面接はそれほど難しいことはありません。
その会社とのご縁もあったりします。

Copyright ©2020 CORECOLORS.inc All Right reserved.

しっかりと筋道を立てて、内容の矛盾なくアピールすれば、やり切れば、必ず結果は後からついてきます。

以上がステップ3の「転職サイトに登録する」です。

では、ここで一旦まとめましょう。

まずステップ1として、HTML・CSS・レスポンシブコーディングを学習します。学習がある程度進んだら・・・
↓
ステップ2、ポートフォリオを作る
↓
そしてステップ3 転職サイトに登録する

以上がエンジニア転職を実現する3ステップです。

では最後に、個人的に感じているエンジニア業界に入ってみての感想をお伝えします。
良かったことと、これちょっと微妙だなと言う2つの観点からお伝えしようと思います。

■エンジニア業界に入ってみた感想

・イマイチな点

最初に、ちょっと微妙だなと思う点です。

Copyright ©2020 CORECOLORS.inc All Right reserved.

エンジニア業界って、現場がピリピリしやすいところがあります。特にディレクターの人が僕は苦手で、偉そうだったりとか、理屈で詰めることばかりやる人もいます。

言ってることは正しいのですが、言い方にとげがあったりすると、それが積もり積もってフラストレーションになって、正直この人と一緒に仕事したくないなと思うことがあります。

業務上、テキストでのやり取りが多いので、尚更です。

なので、これは他の業界でも同じだと思いますが、一緒にいる人で仕事の空気感が変わるので、これがイマイチな点かなと思います。

エンジニアの性質上、外に出ることってないじゃないですか？ずっと社内にいて、ずっとピリピリする職場は、早いところ力を付けて、違う会社に行くのがオススメです。

幸い今の現場では、ディレクターが非常に優秀な方なので、配慮が効いていますし、指示内容も素晴らしいくらいにまとまっています。

おかげで「この仕事の仕方が、ディレクターとしての手本だ」という基準ができました。

こういう職場もあるので、審美眼を養う訓練にもなります。

・良い点

では逆に、良い点に関してお伝えします。

エンジニア業界ほどスキルが積み上がっていく仕事ってなかなかないのではないかなと思います。
特定の会社でしか通用しないスキルって、他の会社に行ったら、またゼロから、その会社のやり方で、仕事を覚えないといけないと思います。

Copyright ©2020 CORECOLORS.inc All Right reserved.

エンジニアにはそれがありません。

HTML・CSSは共通だし、WordPress、JavaScriptなどのシステムやプログラミング言語も、たとえ他の会社に移ったとしても使えます。
これって個人的にはすごく画期的なことだと思います。

「身につけたスキルが、どこに行っても生涯使えるものになる」ということを考えると、純粋に勉強するのが楽しくなりますよね。

特定の会社でしか使えないスキルって、ある意味、心から勉強するモチベーションが湧くかと言うと、正直微妙だと思うんですよ。

「そこまでモチベーション高く身に付ける気になれない」と言うのが、多くの人の本音かなと思います。
僕自身は、なれなかったです。

エンジニアって、スキルを身につけるのは大変ですが、大変だということは市場全体から見たら、自分にしかできないことを身に着けるチャンスでもあります。
代替え不可能な仕事ができるって、僕は本当に幸せなことだなと感じます。

これはこの業界に入って、本当に良かったなと思うことの一つです。
もし身近にエンジニアの人がいるならその人からメリット、デメリットを聞いてみても良いかと思います。

デメリットを差し引いても、得られるモノが非常に多くて楽しい業界だと思うので、すごくオススメです。
以上がエンジニア業界に入ってみた感想です。

では最後に、今回のまとめに入ります。

Copyright ©2020 CORECOLORS.inc All Right reserved.

■今日のまとめ

今回の小冊子では、次のことについてお伝えしました。
・エンジニア転職に必要なもの
・何を学習していくのか
・エンジニア業界に入ってみた感想

読んでみていかがでしたでしょうか？

良かったら公式ラインにて感想を頂けると嬉しいです。
そのまま返信いただけると、他の人には見れない形で、私の方にメッセージを送ることができます。

■お知らせ

最後にお知らせです。

Copyright ©2020 CORECOLORS.inc All Right reserved.

今日お伝えした3ステップの内容を、さらに細かく8ステップにした、エンジニア転職専門の講座「エンジニアコードプログラム」という講座をご用意しています。

中には独学が苦手だと言う方もいらっしゃると思うので、そういった方向けに4ヶ月間step-by-stepで取り組んで、「エンジニアスキル」と「転職スキル」この両方を身につけて、エンジニア転職していただきます。

対象としてはこのような方です。
・未経験からエンジニア転職したい方
・独学が苦手な方
・35歳以下の方

今、全く違う業界で会社員をされている方でもOKです。
未経験の状態からエンジニア転職できるよう、現役エンジニアがマンツーマンで徹底サポートしています。

この講座の特徴として、「結果を出す」ということを大事にしています。

一般的な講座って「知識を学ぶこと」を重視しているかと思うのですが、このプログラムでは結果を出すこと、つまり、「エンジニア転職する」という事に完全特化した内容になっています。

例えるなら、RIZAPのような結果にコミットしたもので、エンジニア転職版のRIZAPだと思っていただければ良いです。
転職できるまで徹底的にサポートします。

詳しくは、下記バナーをクリックすると詳細ページに飛べますので、気になる方は、ぜひ無料カウンセリングにお申し込みください。

なお、公式ラインから受講に関するご相談も受け付けています。

Copyright ©2020 CORECOLORS.inc All Right reserved.

https://corecolors.net/engineer-code/

それではこれで、終えていきます。
最後までお読みいただき、ありがとうございました。

それではまた。

Copyright ©2020 CORECOLORS.inc All Right reserved.